

RHYTHM

CSR REPORT 2013

2012年4月1日～2013年3月31日



The
25th Anniversary

 avex group

律動の源

めまぐるしく変化する社会の中で、
私たちは総合エンタテインメント企業として何ができるのだろうか、
常に考え続けてきました。

寄付やボランティアといった活動は、
エイベックス・グループとしても日常的に行っています。
でも、それは企業として当たり前のことだと思っています。

私たちの本業は、人々に感動を与えること。
共感を起し、希望を与え、生きる喜び、そして未来への夢を与えること。
誤解を恐れずに言えば、事業そのものがCSRなのかもしれません。

そのためには、エンタテインメントを創り出す人々の環境を整えること。
つまり、社員一人ひとりがいきいきと働けるエイベックスであり続けること。
それもCSRだといえるはずです。

私たちが持つすべてのノウハウを生かし、
人の感情を揺さぶる、
エイベックスのエンタテインメントにしかできない
CSRを追求していきます。



いつの時代も、

一人ひとりに寄り添う、

エンタテインメントを。

社員も地域の方も利用できる保育園「ポポラー」を誘致

昨今、「待機児童」が問題となり、復職したくても出来ない人が増加しています。当社グループは、「育児休業中の社員がこの問題に悩むことなく希望の時期に復職できること」、「より働きやすい環境を提供できること」を目的とし、エイベックスビル内に株式会社タスク・フォースが全国で展開している「都市型保育園ポポラー」を誘致、2013年3月25日に開園いたしました。本保育園は、当社従業員だけでなく南青山周辺住民の方々も利用することができ、「より働きやすい環境」の一助となれればと考えております。



保育園設置にあたり、地域の認可・認証保育園、他社の社内託児所の見学を重ねてきましたが、その中で当社従業員のみが利用する施設を作るよりも一般の方もご利用頂ける施設の方が、会社にとっても保育されるお子さんにとっても良いのではと考え、保育園運営のノウハウがある運営会社に依頼することにしました。今後も仕事と育児の両立を支援し、子どもが健やかに育つ社会形成の実現を目指し、努力してまいります。

エイベックスグループ・ホールディングス株式会社
総務人事部 人事部 キャリア支援課
前出 瞳

設立の背景

当社グループ従業員は約4割を女性が占めており、妊娠・出産する女性は年々増加しています。当社の育児休業からの復職率はほぼ100%ですが、その中で保育園が見つからないため育児休業を延長する人は約5割弱に上ります。そこで、社内に保育園を設置し、希望する時期に復職しやすく「より働きやすい環境」の整備を検討した結果、保育園を誘致する運びとなりました。



特長

従業員だけでなく、周辺住民の方々にも「より働きやすい環境」を整えるという点を意識し、誘致いたしました。「一般の方も利用できること」や「21時まで保育可能となっていること」、「一時保育も行っていること」の3点が特長となっています。

両立支援の今後の展望

保育園ができ復職時期の目安がたちやすくなることで、復職後のキャリアプランを考えやすくなります。キャリア継続を望む女性が出産・育児をキャリアのハードルとして捉えるのではなく、自律的に働いていける環境を整えていきます。また、育児だけではなく介護などのライフイベントに直面する従業員に対しても、仕事との両立ができるように支援していきたいと考えています。



その他の取り組み

ママフェス

“ママが元気じゃないと日本は元気にならない!”という趣旨のもと、2010年より「mama fes」を開始。エンタメを通じてママや子供が楽しんでもらえる“場”を提供しております。2012年秋のイベントでは、さまざまなタレントが使用していた赤ちゃんママの思い出の品物を『思い出のストーリー付き』で出品し、次のママへ伝える「mama's Smiley Project」を実施。またママフェスの売上の一部を東日本大震災の義援金としてハタチ基金※に85,407円寄付させて頂きました。今後も、ママが元気になる活動を行ってまいります。

担当者のコメント

回数を重ねるごとに、ママタレント、モデル、企業の方々、多くの皆様が強い関心を持ってきています。これは日本を支えるパワーとして、ママの「チカラ」を多くの方が感じているのだと思いました。今後もママフェスは、そんな皆様の力を結集する「場」を提供していきたいと思っています。



※ハタチ基金:東日本大震災発生時に0歳だった赤ちゃんが、無事にハタチを迎えるまで、子どもたちの心のケアに合わせ、学び・自立の機会を継続的に提供する基金として設立

健康保険組合

グループ従業員や家族などが健康面においてより安心して働くことができるよう、グループ内で独自に健康保険組合を設立しました。エンタテインメント業界は人気や嗜好に左右される業界ではありますが、同業界で初めて、厚生労働省より認可されるとともに、当社グループは若い社員が多く保険料や健康診断実施項目についても、独自に設定することが可能となりました。今後も健康維持・増進のためさまざまな整備を行ってまいります。

現場の律動

2年
継続

アジア国際子ども映画祭への賛同

法務省、外務省、文部科学省などの後援のもと文化庁の委託事業として行われる「アジア国際子ども映画祭」の趣旨に賛同し、当社は、所属アーティストの出演やメッセージ、そして、協賛金の提供を行っています。

本イベントでは、国内外の子どもたちが、子どもならではの視点で世の中に起きるさまざまな諸問題について映画を製作し、自らの心の深層と想いを世の中へ伝えます。子どもたちには、映画を通して、参加するアジア諸国との異文化理解を図るとともに、視野が広がるきっかけとなればと思います。

今後も本活動を通じ、次世代を担うアジアの子どもたちに夢と希望を与え続けたいと思います。



音楽の力を使ったメンタルヘルス予防

昨今、労働者の心の健康(メンタルヘルス)に関する社会的な関心が高まる中、当社グループは、20代~30代の働く男女に向けて、「メンタルヘルス予防のために、日常的に音楽を聴く習慣を提案したい」という思いから、コンピレーションアルバム「ココロストレッチ」をリリースしました。この商品は、メンタルヘルスの権威である専門医学博士などが監修、選曲した作品です。

音楽には、心身の緊張や不安をほぐして気分をリラックスさせる効果があり、これらの効果については心理学博士、臨床心理士のもと、「状態不安」が低下する「HEALING」(夜用)と「爽快感」が上昇する「CHEERING」(朝用)の2タイトルを用意。当社グループの強みとする音楽を通じてメンタルヘルスの予防に取り組み、音楽をもっと身近に感じてもらうきっかけになればと考えています。



エイベックス・マーケティング株式会社
サブライフェーン本部
企画開発部 制作・企画1課
内田 裕美

職場のメンタルヘルスに興味を持ち産業カウンセラーの資格を取得したことがきっかけでこの商品を企画しました。今までのヒーリング音楽とは異なる、若い方にわかりやすいCDを作ろうと、選曲や調査に手間をかけました。心地よい音楽で毎日のセルフケアを行うことで、皆が元気で働けるようにという強い思いがあります。

ダンスキットの配布、指導者研修会の無料実施について

NEW!



2012年度より中学校でダンスが必修となりました。それに伴い、当社が運営するエンタテイナー養成スクール「エイベックス・アーティストアカデミー」が拠点とする地域(東京、大阪、名古屋、福岡)の体育教員約700名に対し、無料でダンスの指導者研修会を行いました。参加者にはダンス授業が実施しやすいように、当社グループが企画・制作した授業研究資料『DANCE TRAINING DVD』を配布し、学校教育のサポートを行っています。また、福岡では市の教育委員会と連動し、福岡市内の中学校全ての体育教師にDVDを配布しました。

今後も、次世代のエンタテイナーを担う生徒たちがダンスの楽しさを少しでも感じられるようなサポートを行っています。

以前、私自身が体育教師として教育現場に5年間勤めていた経験もあり、本務を通じて教育界へサポートができるきっかけを作れたことが本当に嬉しいです。ダンスは、生徒たちを明るく元気にし、表現力豊かな人間形成に繋がります。今後もダンスを通じて教育界へのサポートを積極的に続けていきます。

エイベックス・プランニング&デベロップメント株式会社
コンテンツエージェンツ事業部
ダンスマスターセクション
鎌田 博

ヘルプライン(通報・相談窓口)の設置

当社グループに所属する役職員は、業務内外に関わらず、自らまたは他の役職員が法令・社内規則やモラル・マナーに著しく反する行為または違反するおそれのある行為を認識した場合および倫理的な疑問で判断に迷った場合には、直接当事者が社内または社外に設置しているヘルプライン(通報・相談窓口)に通報・相談することが可能です。

2007年5月より本窓口を設置し、明確な連絡先を掲示することで、従業員の「より働きやすい環境」を積極的に作っています。

※通報者が不利益を被ることがないよう「内部通報規定」により運用し、通報者の保護を行っています。



5年
継続

障がい者スポーツ選手の雇用 ～当社グループ従業員3名がパラリンピックで活躍～

当社グループでは、2008年から障がい者スポーツ選手を積極的に雇用しています。現在ではアルペンスキー、ノルディックスキー、車椅子バスケットボール、車椅子マラソン、車椅子テニス、陸上の6分野10名の選手が在籍しており、2012年8月29日から12日間、ロンドンで開催されたパラリンピックにおいて、3名の選手が出場し、好成績を残しました。今後も当社は日本パラリンピック委員会オフィシャルサポーターとして、選手の活躍に期待するとともに、選手の才能を發揮、表現する場を提供するべく障がい者雇用に積極的に取り組んでいきます。



10年
継続

「aoyama christmas circus」 を開催

情報・流行の最先端である青山通りをクリスマスシーズンの名所にするを旨としたイベント「aoyama christmas circus」を今年も開催(2012年11月16日～12月25日)し、多くの方にお集まりいただきました。本社ビル前には、本イベントのシンボルとなる巨大ツリーを設置。電飾としてLED照明90,000球を使用しており、イベント期間中における消費電力は3.8kWh※となりました。今後も環境に配慮しながら地域の皆様と連携し、心温まる“エンタテインメント”を届けていきたいと思ひます。

※3.8kWhは、100wの電球約38個を1時間灯したのと同じ電力量。

クリスマスの期間に突然現れる巨大ツリーが青山地区の冬の風物詩となるように当社らしいクリスマスツリーを毎年作り上げています。また、ツリーが点灯する瞬間に足を止めて頂いた多くの方々に喜んでもらえるような点灯式イベントも見所です。子供のころの気持ちに戻れるクリスマスというイベントを通じて、環境に配慮しながらエンタテインメントを提供していくところに当社らしさを表現するところがあるんだと実感しています。

エイベックスグループホールディングス株式会社
総務人事本部 総務部 総務課
倉橋 賢一郎



職場訪問
実施時の様子

NEW!

著作権法改定における啓蒙活動

2012年10月1日に著作権法が改定され、「違法にアップロードされたものだと知りながら音楽や映像をダウンロードした者に対して、2年以下の懲役もしくは200万円以下の罰金、又はこの両方」が科せられることになりました。それに伴い、当社グループでも職場訪問で来社される中高生(受入れ人数:3,576名、284校)に対し、資料やパンフレットを使っての啓蒙活動を実施するとともに、当社グループに関連するコーポレートサイト、サービスサイト、アーティストサイト全てに、「音楽・映像の違法ダウンロードは刑事罰の対象となる」という警告文を掲載しました。今後もエンタテインメント・コンテンツを保有する企業として、本活動を引き続き行っていきます。

NEW!

ソーシャルメディア内規制定

昨今、急速なスマートフォンの普及に伴い、TwitterやFacebookなどといったソーシャルメディアを利用する人が増加しています。当社グループでも、ソーシャルメディアを利用することで、アーティスト、タレント、商品等が注目されること、SNS特有の双方向コミュニケーションによって、これまで気づかなかった新しいビジネスチャンスをつ捉えることができるといったメリットを鑑み、事業発展の観点から、ソーシャルメディアの利用を奨励しています。しかしながら、情報発信の内容や方法を誤ると信頼や評価を失い、悪評を生むという悪循環をもたらす可能性があります。そのため、ソーシャルメディアの特性を理解し、上手に使っていくための道筋を示すべく、「エイベックス・グループソーシャルメディアポリシー」を策定しました。社員が有効的に本ツールを利用できるよう、本ポリシーの全文や理解促進を図るための映像を社内のイントラネットに掲載しました。また、判断に迷った際に相談する窓口を設け、公開しています。今後は、社員への理解促進のため社員研修等でも周知徹底してまいります。

NEW!

自社ビルの カーボンオフセットを実施

当社グループでは、オフィスなどから排出されるCO₂を相殺(オフセット)するため、購入した5,000t※のCO₂排出権を2012年5月24日に全てオフセットいたしました。

※本社ビルのCO₂年間排出量は約1,907tです



エイベックスへメッセージ

エイベックスに関わる方々から、エイベックスのCSRに期待することを語っていただきました。

音楽には、緊張や不安をほぐして気分をリラックスさせる効果があるため、日常で最も簡単に取り入れられるココロストレッチ方法であると言えるでしょう。

この“ココロストレッチ”シリーズでは、夜眠る前に聴くことでα波を示す“ゆらぎ”の波動とことばが心身に心地よく作用する“HEALING”と、一日の始まりに聴くことで明るいらズムや言葉で気持ちを元気にしてくれる“CHEERING”という趣向の異なる二枚から、音楽によるストレスの軽減を提案しています。今回、エイベックスと一緒にこのようなCDを制作させていただいたことで、20代30代の働く若い方々のメンタルヘルスに対する意識が変わっていくことを期待しています。

医学博士 横浜労災病院勤労者メンタルヘルスセンター長
山本 晴義様

青少年健全育成事業であり、アジアの子どもたちに映像を通して、交流を図るアジア国際子ども映画祭に協力・協賛していただいているエイベックスは、新しい社会貢献の始まりであり、大変大きな力となっています。

いまやエンタテインメント産業は小学生から大人まで幅広く、特に小学生から高校生までの体と心が形成する貴重な年代に大きく関与しています。音楽は人の心をゆたかにし、仲間をつくり、明日への活力をもたらすと私は思います。“継続は力なり”と“ローマは一日にして成らず”この二つの諺を持ち合わせているのがこの映画祭です。

近未来へ、恒久的なアジア平和が構築されますようにエイベックスと共に歩ませていただければ幸いです。

アジア国際子ども映画祭 事務局長
川上 洋介様

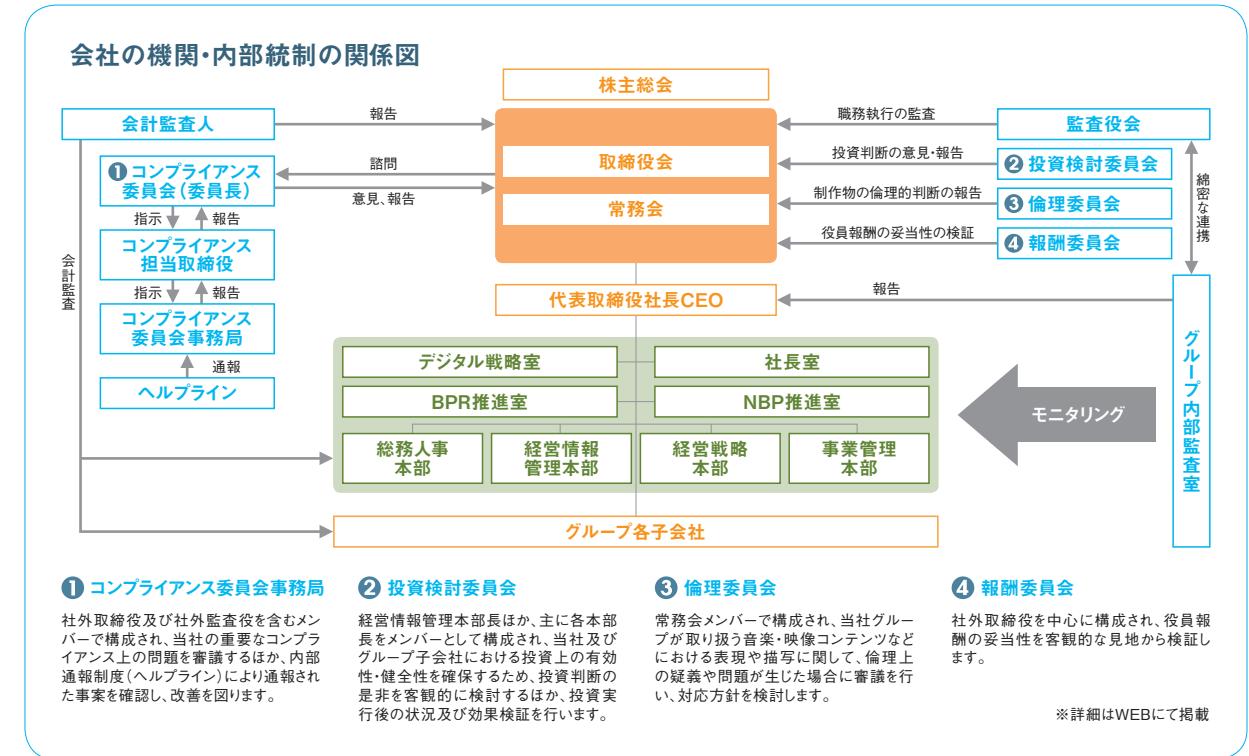
富士見市立富士見特別支援学校
教諭
塩本 博美様

音楽が大好きな本校の子どもたちに、ダンサーの方からダンスを教えてもらい、一緒に踊る機会を設けてくれてエイベックスにお願いしました。事前に本校の子どもたちの様子を見て来てくださったり、簡単な振り付けを考えてくださった丁寧さにとっても感動しました。当日は、いつも以上に楽しんでいる姿を見ることができました。数日前より楽しみにしていた子どもも、実際に踊ってみてダンスの楽しさを実感した子…子どもたちの様子を見て、子どもたちにとって楽しい時間を設定できたかな、と嬉しく思いました。本校教員からもまた是非、との声を多く聞きました。継続できるとまた違った様子が見られると思います。機会があったらお願いします。

エイベックスのCSR

コーポレートガバナンス

当社グループは、2010年12月に公表した中期経営計画「Next Era 2014」において、音楽パッケージや音楽配信といった従来型の事業に加え、ライブやマーチャンダイジングといった周辺事業の拡充と、映像配信をはじめとするデジタル・プラットフォームを中長期的な成長を軸とし、企業価値の増大を図るべく全社一丸となって取り組んでおります。これら成長戦略を邁進していくにあたり、株主の皆様他、ステークホルダーの方々のご期待と信頼に応えるためには、より強固なコーポレート・ガバナンスの構築が必須であると考えております。的確な経営の意思決定、迅速かつ適正な業務執行、並びに十分なモニタリングが機能する経営体制を構築し、企業倫理の維持・向上を図っていくことが、当社グループのコーポレート・ガバナンスの基本的な考え方であります。



コンプライアンスポリシー

インチキするな。

1. 公正、透明、自由な企業間競争を行う。
2. 会社の正当な利益に反して、自己や第三者の利益を図るような行為を行わない。
3. 営業活動において、不正な手段は用いない。

弱いものイジメするな。

1. 人権を尊重し、差別につながる行為を行わない。
2. 取引先に対しては、良識と誠実さをもって接し、公平かつ公正に扱う。

人の金で遊ぶな。

取引先等と健全な商慣習や社会的常識を逸脱した交際をしない。

ウソつくな。

1. 情報を的確に開示する。
2. 適正な宣伝・広告をする。

勘違いするな。

法令を遵守し、社会規範を尊重する。

無駄づかいするな。

環境問題の重要性を認識し、会社の資産は有効に活用する。

他人のものを盗むな。

自社の知的財産権を保護し、他者の知的財産権を尊重する。

「力」に頼るな。

1. 市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力及び団体との関係を持たない。
2. 政治、行政と透明度が高い関係を構築する。

抜け駆けするな。

1. 仲間に支えられている自分、仲間を支えている自分を意識する。
2. インサイダー取引をしてはならない。

仲間を裏切るな。

1. 信用・信頼・名誉を損なう行動や発言をしない。
2. 企業秘密・個人情報 は適切に管理し、無断で会社外に開示・漏洩しない

チームとしての誇りを。

1. 従業員が働きやすい職場環境を実現する。
2. 「良き企業市民」として、積極的に社会貢献活動を行う。

そして、才能に愛と賞賛を。
(決して嫉妬ではなく)

※全文は WEB にて掲載

エイベックス・グループ・ホールディングス株式会社

総務人事本部 コーポレート広報課

〒107-8577 東京都港区南青山3-1-30

TEL.03-5413-8508

<http://www.avex.co.jp/>

